

CUPREN

News Letter

特集1

ロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座の開催

特集2

2021年度セミナー・シンポジウムの開催

No. 4
2022



ロボット・AI・IoT導入 経営人材育成講座の開催

8月6日から9月24日までの期間で、全8回にわたりロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座を開催しました。この講座は今年度が2年目で、名古屋市が主催し、名古屋工業大学との連携事業となります。



2021年8月開講!

名古屋市ロボット・AI・IoT人材育成事業
名古屋市・名古屋工業大学・名古屋市立大学の連携事業です!
名古屋市立大学では、企画のロボット・AI導入促進のため、
被選者向けに「経営人材育成講座」を開催します!

ロボット・AI・IoT導入 全8回 事半功倍 無料

経営人材育成講座

→ 基礎編
ロボット・AI・IoTを導入する背景として、自社の悩み
を抱くことなくロボット・AIやIoTを導入するのに
必要な考え方とともに、AIの基礎となる機械学習や
個人情報保護・倫理的配慮の基礎等について学びます。

→ 応用編
ロボット導入や定型化業務の効率化、DX、画像処理
分野におけるAIの活用等を学びます。

—名古屋市ロボット・AI・IoT人材育成事業—
主催：名古屋市
運営：名古屋市立大学
名古屋工業大学

プログラム概要

回	テーマ	担当教員名
1	オリエンテーション（経営・コアコンピタンス=強み）	鵜飼 宏成 (大学院経済学研究科 教授)
	財務会計とデータ分析	吉田 和生 (大学院経済学研究科 教授)
2	AI・IoT概論	大谷 隆浩 (大学院医学研究科 講師)
3	機械学習基礎①（回帰分析・多変量解析）	三澤 哲也 (大学院経済学研究科 教授)
4	機械学習基礎②（プログラミング1）	渡邊 裕司 (大学院理学研究科 准教授)
5	機械学習基礎③（プログラミング2）	渡邊 裕司 (大学院理学研究科 准教授)
6	個人情報保護と規制改革・情報倫理	小林 直三 (大学院人間文化研究科 教授)
7	ロボット基礎及び活用事例紹介	加藤 大香士 (大学院芸術工学研究科 准教授)
8	活用事例紹介（信号・画像処理分野）	横山 清子 (大学院芸術工学研究科 教授)

今年度は、名古屋工業大学が「専門人材育成講座」を、名古屋市立大学が「経営人材育成講座」を、それぞれ開催しました。本学では、都市政策研究センターが中心となり、本講座を運営しています。主な対象は名古屋市内の中小企業の経営者層で、基礎編・応用編からなる8回のテーマは、ロボット・AI・IoTの導入を検討するのに有用な内容です。また、今年度は異業種交流会も初めて開催し、参加者同士の関係構築にも役立って好評でした。

都市政策研究センターでは、今後もこうしたDXの推進に関連する事業にも取り組んでいく予定です。

温知学要

都市政策研究センターでは、学生の社会貢献活動・地域貢献活動をサポートする目的で、名市大未来まちづくり活動支援事業「温知学要」(おんちがくよう)を実施しています。今年度に採択された4団体は、いずれも積極的に企業や機関と連携し、社会課題の解決のために活動しました。なかには、団体の活動がマスコミなどで紹介された取り組みもありました。各団体とも中間報告会(12月)と最終報告会(3月)で活動成果を発表し、教職員からの助言を受けました。



「する責任」を果たす
効果の高い商品を開発
(経済学部の学生)

2021年度セミナー・ シンポジウムの開催

11月にシンポジウム、12月と2月にセミナーを開催しました。今年度は昨年度に引き続きオンラインでの開催となりましたが、日本各地より多数の参加があり、各回とも活発な意見交換が行なわれました。

シンポジウム

DX時代における都市の可能性

第1部 基調講演

「都市・交通政策において活用が進むコネクティッドデータ～三方よしのビジネスモデル」

第2部 ディスカッション

「DX時代の都市における産官学の役割」



第1部の基調講演では、KDDI 株式会社コネクティッドシステム部の岡田宏氏が「都市・交通政策において活用が進むコネクティッドデータ～三方よしのビジネスモデル」をテーマに講演し、デジタル化の進展のなかで、DX が都市の成長発展に果たす役割について解説しました。第2部のディスカッションでは、「DX 時代の都市における産官学の役割」をテーマに、パネリストに中部経済連合会専務理事の小川正樹氏、名古屋市総務局長の難波伸治氏、本学の横山清子副学長が参加し、鵜飼宏成副理事がコーディネーターを務め、DX 時代における産官学の連携など、今後のあり方に関する議論を交わしました。

連続セミナー

第1回

データ分析からみた地方財政健全化



湯之上 英雄 大学院経済学研究科 准教授

わが国の地方公共団体は、依然として厳しい財政状況に置かれています。こうした状況をふまえ、第1回はさまざまな統計データを活用しながら、地方財政の健全化のために必要なポイントについて学びました。講演のなかでは、近年発展の著しい因果推論の解説もあり、参加者は財政健全化や事業の検証を行うための統計手法について理解を深めることができました。講演終了後には質疑応答の時間があり、さまざまな観点からの質問も寄せられました。

連続セミナー

第2回

個人情報保護制度の概要と展望



小林 直三 大学院人間文化研究科 教授

全国の自治体が DX に向き合うなかで、個人情報保護制度をどう再設計するかは喫緊の課題です。そこで、第2回は個人情報保護制度を取り上げ、制度概要や今後の動向を学びました。講演では、個人情報保護法の改正の概要や今後の展望の紹介もあり、今後の DX 時代に個人情報保護制度を運用するうえでのヒントが示されました。講演終了後には参加者からの質問をもとに意見交換も行なわれ、個人情報保護制度の今後を考える契機になりました。



デスクワークをする人の目の疲れを
ケアするための商品を開発
(経済学部の学生)



ジェンダーフリー実現のための
幼児向け絵本及びグッズの制作
(経済学部の学生)



若者向け
ガイドマップの作成
(人文社会学部の学生)

2021年度の活動実績

○ロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座

2021年8月6日～9月24日

＠名古屋市立大学瀧子キャンパスまたはZoomによるリアルタイムオンライン開催

○都市政策研究センターシンポジウム

2021年11月8日～11月14日

YouTube配信によるオンライン開催

○都市政策研究センター連続セミナー第1回

2021年12月20日19:00～

Zoomによるリアルタイムオンライン開催

○都市政策研究センター連続セミナー第2回

2022年2月7日19:00～

Zoomによるリアルタイムオンライン開催

受託実績（一部抜粋）

・名古屋市総務局企画部統計課

・名古屋市経済局産業労働部産業企画課

・名古屋市スポーツ市民局市民生活部消費生活課

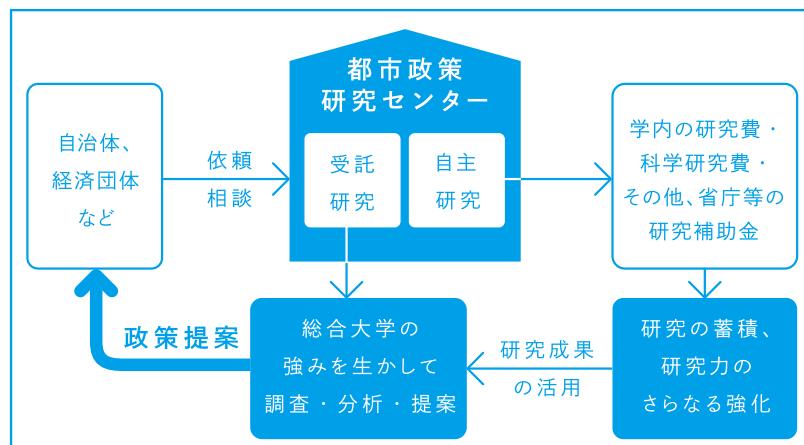
・豊川市役所 ほか

名古屋市立大学 都市政策研究センター(CUPRE)

センターの紹介

当センターは全学的な共同研究体制のもと、名古屋大都市圏が抱える地域課題に対して、解決に寄与する調査・分析・提案を進めます。

「CUPRE」というのは、Center for Urban Policy Research and Educationの頭文字を並べたものです。



ロゴマークは、NCUとCUPREを組み合わせたデザインです。CUPREと読めるようにNを右側にし、NCUを一筆書きでまとめました。「N」は都市をイメージさせる、ビルをモチーフにしました。

お気軽にご相談ください

当センターのスタッフとして参加する教員は、講演会や研修会の豊富な講師経験があります。

また、学生を交えたまちづくりワークショップなども対応が可能です。

お問い合わせ

当センター事務局までお問い合わせください。

e-mail : cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp

tel : 052-872-3527

公式ホームページに
アクセス!



「自治体 DX」とは？

日本では今、多くの民間企業がデジタル技術の活用を通じたDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組んでいます。また、総務省も自治体DX推進計画を策定し、また自治体の現場でもデジタル化のうごきが進展つつあります。各自治体でこうしたうごきが進むと、情報セキュリティの強化を前提として、さまざまなデータをクラウド上で管理・運用できるようになるでしょう。その先では、自治体行政の効率化と市民サービスの向上が進んで、窓口に行かなくてもオンラインで各種手続きが可能となる見通しです。また、自治体でもテレワークのような新しい働き方が普及していくかもしれません。